

CSR 担当者の連携先は社内にある！ 異業種コラボによる事業創出に学ぶ SDGs の新境地

～大手旅行会社が昆虫食を新事業にした理由とは～

<講演内容>

- ・「旅する未来フード事業」の開発背景と経緯
- ・新規未来事業として「昆虫食」が採択されるまでの経緯や苦労
- ・MNH との KNT-CT ホールディングスの協働の経緯
- ・「旅する未来フード クリッピー」「旅する未来フード コオロギチャレンジ」開発の経緯と苦労
- ・各人が事例から学んだ新規事業開発、そして企業連携のコツ ほか

<講師>



さとう ゆりか
佐藤 優麗香 さん

KNT-CT ホールディングス株式会社
社長室／未来創造事業担当



おざわ なおひろ
小澤 尚弘 さん

株式会社 MNH
取締役社長

《会場》 株式会社電通（裏面をご参照ください）

＜所在地＞ 東京都港区東新橋 1-8-1 電通本社ビル

＜最寄駅＞ JR・地下鉄「新橋駅」

《参加費》 5,000円

（当協会会員：2,000円、学生：1,000円）

《お申込み》 <https://www.philanthropy.or.jp/seminar/411>

または右下のQRコードからお申込みください。

2023. 9. 25 (月)

15:00 ～ 17:00 (14:45 開場)

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585 HP：<https://www.philanthropy.or.jp>



<開催趣旨>

一見するとなにも関連がない「旅行」と「昆虫食」。旅で視野が広がるように、未来の食の可能性を拓くコオロギに着目し、旅行会社としては前代未聞の昆虫食の事業化に向けて現在実証実験中の老舗大手旅行会社 近畿日本ツーリストを傘下に持つ KNT-CT ホールディングス・未来創造事業担当の佐藤優麗香さん。佐藤さんの発案をともに現実化させたのは、ソーシャルビジネスを手がける MNH 社長の小澤尚弘さん。「コオロギは地球を救う」の合言葉のもとコオロギフードを開発してきた、日本の昆虫食のパイオニアです。

「異業種コラボは SDGs の新領域に立ち向かうヒントにもなる」と小澤さんが期待するように、佐藤さんの想いは今や、世界的な飢餓問題への挑戦につながっています。本セミナーでは、日本ではまだまだマイナーな昆虫食を、どのように社内承認させ新規事業案につなげたのかについて、佐藤さんの社内突破プロセスについて語っていただきます。

「社内で CSR の意義を浸透させたい」「自社のリソースに限界を感じている」「新しい形の社会貢献を考えたい」と悩む CSR 担当部署の皆さまにとって、一見関連のない領域に活路を見出し、その意義を社内に周知のうえ、企業の社会的パフォーマンスに昇華させようとしているプロセスは、目から鱗のヒントになるでしょう。併せて、なかなか聞けない異業種コラボのノウハウも楽しくお伝えします。CSR 担当部署の新たな役割を発見する機会として、奮ってご参加ください。

<講師プロフィール>

佐藤 優麗香（さとう ゆりか）

KNT-CT ホールディングス株式会社 社長室／未来創造事業担当

学生の時にオーストラリア留学を経験し、「旅は人生を豊かにする」ことを実感。この経験から「旅を通して子どもたちの選択肢を増やす仕事がしたい」という思いが生まれ、大学卒業後、教育旅行を得意とする近畿日本ツーリスト首都圏に入社。3年半修学旅行を始めとした教育旅行営業を担当。コロナをきっかけに「旅以外でも子どもたちの選択肢を増やす仕事がしたい」という思いで社内公募を受け、2021 年 10 月から未来創造事業に携わる。

小澤 尚弘（おざわ なおひろ）

株式会社 MNH 取締役社長

東京都・西東京市出身。幼少期より音楽に親しんだことをきっかけに、舞台を作り上げる裏方の仕事に就く。2011 年、地域資源を活かした商品の企画・製造・販売事業を行う株式会社 MNH に入社。翌年、取締役社長に就任。社会課題を解決するビジネスモデル創出や、福祉作業所との連携して多様な人々が働ける場づくりなど、SDGs に貢献した仕組みづくり、商品企画・開発・食品製造を行っている。「みんなで (M) 日本を (N) HAPPY (H) に！」という思いを軸にモノづくりを通したソーシャルビジネスを实践、誰もが喜びを感じて働ける社会の創造を目指し、HAPPY を循環させる活動に取り組んでいる。

【会場ご案内】

株式会社 電通

<所在地>

東京都港区東新橋 1-8-1 電通本社ビル

<最寄駅>

JR・都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀座線「新橋駅」

汐留シオサイト地下歩行者道経由で徒歩 5 分

都営地下鉄大江戸線「汐留駅」徒歩 1 分



引用元：株式会社電通ホームページ

<https://www.dentsu.co.jp/aboutus/tokyo/access02.html>